

第2回策定委員会の意見

	意見	策定委員会での事務局の回答	今後の検討事項等
1	市民アンケートの設問内容が難しいという高齢者の意見があった。内容を精査する必要があるのではないか。回収率にも影響すると思われる。	5年前との比較の必要もあり、文面を変更していなかったため、難しい部分もあったかもしれない。今後のアンケートについては検討する。	設問の内容を変えない範囲での表現方法の変更
2	積極的な社会参加を促すために移動手段を確保すること。地域特性に応じた適切な移動手段の確保についての施策が非常に重要ではないか。	75歳以上の高齢者に対する福祉乗車券の助成を進めていく。道路の管理等は早急な対応は難しい。庁内の関係各課に対して取組の実施状況を確認する。道路施策については、国道交通対策課で地域交通推進会議により国、県、警察、JR等交通事業者といった関係団体と連携しながら移動手段の確保について検討している。	移動手段が限られた人にも地域での行事等に参加してもらうために町区公民館で各種サロン等を実施している。今後も継続し、他のイベント等の開催についても検討する。
3	ここに行けば全部相談できる、いわゆるワンストップの体制づくりは必要だと思う。たとえば、高齢者だけが対象となっている地域包括支援センターで子育て関係の相談ができる等、機能の充実をお願いしたい。（ベースづくりは民間団体だけでは無理なので、行政中心でやってほしい）	縦割りのではあるが、福祉の各種相談機関はあるので、今後はこれらが連携できるような調整を考えたい。まずは既存の相談事業管理を充実させ、関係団体等へ周知し、行政との連携を深め、強化していきたい。	回答のとおり実施に向けて検討する。
4	鳥栖は遊具のある公園が少ないという意見をよく聞く。社会福祉協議会の事業の中に「遊園遊具の助成事業」があるが、どういうところに助成されているのか。	町区で管理している遊具の新設、修理に対して助成を行っている。町区の遊具数等は把握していない。市営公園の遊具は助成対象外である。（社会福祉協議会）	
5	行政の取組の中の生活道路について、学校も毎年、子供たちの通学路の点検を警察署や建設課と実施し、意見を出して改善をしているが、ここに挙げてある取組というのは同じものなのか。	(次回策定委員会で回答予定)	計画の取組は建設課、通学路点検は維持管理課が実施している。（建設課確認済）
6	活動計画の災害ボランティアセンターは以前あったものと同じものか。以前コーディネーターとして登録していたが、いつの間にか音沙汰がなくなった。75ページに課題として運営のノウハウが不足していることは書いてあるが、災害ボランティアセンターの運営は、どのような運営の仕方をするのか。	登録のみで、具体的な活動は以前から実施できていなかった。熊本等への派遣や視察により、運営に関しての情報収集を行っている。今後、ノウハウを習得して運営を行っていききたい。	回答のとおり実施に向けて検討する。

第2回策定委員会の意見

	意 見	策定委員会での事務局の回答	今後の検討事項等
7	<p>市民の多くは社会福祉協議会の事業について知らないと思うので、活動計画で事業について体系的に整理するのは必要だと思うが、活動計画は事業計画ではない。市の計画と連動しながら、活動計画だけの重点的な取組を載せる。または、社協の取組に対する意識を高め、目標値を住民の活動への参加の動機づけに利用するために、数値目標を設定するといったことも必要なのではないか。</p>	<p>数値目標の設定について検討したい。</p>	<p>計画の数値目標を設定した。</p>
8	<p>市の計画で、市民アンケートを目標値の根拠とすることは方法の一つだと思うが、数値を増やしていく際の根拠がはっきりしない。自分たちが実施する事業についての数値目標も合わせて載せたほうが分かりやすいのでは。</p>	<p>数値目標の設定について検討したい。</p>	<p>数値目標の設定について検討した。</p>